

盧溝橋事件

南京大虐殺—あれから82年…

柳条湖事件—あれから88年…

地獄のDECEMBER (12月)



-哀しみの南京-

この舞台は、芝居と朗読と踊りとで創られた実話です

2019年版
新ジアージョン

渡辺義治・横井里子 作・構成・演出・美術・衣装
IMAGINE 21



父の…言葉
「今頃、戦争に負けな
んだら…儲けて…
楽しめて…」…



戦後も中口入を
キャンコロ、キャンコロ」と
云いつづけた父…



この作品は、木座夫婦の家族(父親)の犯した中国での
一中国人を殺し犯し死の商人としてお金を儲けた罪への



…罪…
告白と懺悔…なのです。

2019 IMAGINE 21 世田谷区 公演

9月 3日(火) 開演 14:15 (開場 15 分前)

北沢タウンホール

03(5478)8006

世田谷区北沢2-8-18

ACCESS 小田急線・京王井の頭線
下北沢駅南口より徒歩5分 / 小田急バス
三軒茶屋発北沢タウンホール行き北沢タ
ウンホール下車徒歩0分

問合せ先 IMAGINE 21

080-5506-2295 (ワタナベ)

一般 3800円 学生 1000円



多摩市 8月27日(火)
パルテノン多摩 小ホール
「多摩センター」駅徒歩5分
14:15 ☎042(375)1414

8月28日(水)

調布市文化会館たづくり

8階 映像シアター

☎0424(41)6111

14:15



告白 渡辺義治 (よしじ)

私は1947年に生まれた。父は、職業軍人として中国人を殺し、そして父達、関東軍将校と家族達は同胞の日本人を中国に置きざりにして帰国した。この事実を兄から聞いたのが1991年…すぐに、嫌がる妻を連れて中国東北部「旧満州」へ飛んで行った。中国人の「生首」を、持つて笑っている…軍人の軍曹を見た。「あんた達は日本人だろ。ここから大勢の中国人が「731部隊」や「日本」に連れて行かれ、今だに帰ってこない。日本人としてどう思う?」と、夜行列車のコックさんに問われた。

「C級戦犯」だったと聞かされていた父のその罪の中に、まさに私は、今も父の罪と共に生きている…いや、生かされているのだと思った。

そして、10年後の2001年「南京」へ行った。長江の虐殺現場で手を合わせた時、突然、目の中が真っ赤になり、ハチ割れる様な頭痛に襲われた。そして、「ウーウー」と唸る様な声に支配された。あまりの痛さにその場を離れた。すると、ウソの様に痛みが失くなったのだ。他の現場でも同じ事がおこった。

この時、私は「南京大虐殺」と向き合わねば…と、思った。いや、向き合わされたのだと思う。

告白 横井量子 (かずこ) [本名 渡辺量子]

私は1946年に生まれた。父は1937年、近所の目黒の大橋の「連隊」に兵士の日用雑貨を納める商いを本格的に始めた。大好きだった父の写真の中で一枚だけ嫌いな写真があった。戦争中に儲けていた頃の写真…父は大口開けて笑っている!!…「アッ!」と思った。父が売った品物を身につけて兵士達はどこへ行ったのだろう…? 中華、アジア、沖縄、他には考えられない!!

「今頃、戦争に敗けなんだら…樂して、儲けて…」、子供の頃に聞いた父の言葉を何回も言ってみた…思いもしなかった事が頭に浮かぶ…父にとって、あの戦争は「いい思い」をさせてくれていた…ものだったのでは…?…思ってもいなかつた戦争中の父の姿…と、写真が一致した。

兄嫁さん達は口をそろえて言う「おとうさんは仏様の様な人だった…」…と…。

けれど、私の愛する父は、軍人より重い罪を犯していたと思う。

何故なら、父達「御用商人」は人にやらせて「お金」だけ入る…だから。

そして、私はとうとう、作品づくりの為に読んでいた本の中で知った…!!

父の商い先の「目黒軒 (しちょう) 連隊」が南京へ出兵していたのだ・そして、「南京慰安所」も、父が納品した品が使われていたのだろうか…と父の戦争責任に思いが至ります。



そして、発見した。それは…。

日本の侵略戦争と日本の闇…

その時 日本では全国 200万人の人々が
「南京陥落」
(かんらく)を提灯
(ちようぢん)行たり
ご祝っていた。

南京大虐殺 82年…

戦後 74年 戦争加害の罪…

南京大虐殺遭難同胞記念館前にある、旧日本軍に
虐殺された子どもを抱える母親の像=3月、南京



残虐事件直後の現場

泣く母

◎私のおじいちゃんは、南京に行っていたと聞きました。知った、きっかけは、ヨーロッパへ留学した時、偶然、南京出身の男の子と一緒にになり、お互いに戦争について話し合ったことがあります。私は、その子と話をする為に本を読みました。彼の心の中には日本人に対する強い反感がありつつも、私を一人の人間、日本人として話してくれました。私は国際ジャーナリストになる事が将来の夢です。私のおじいちゃんの事についても、その友達に会う為にも、いつか南京を訪れたいと思っています。(10.W) ◎娘がふるえっぱなしでした(30.W) ◎この沖縄の地で「自分のなすべきこと」をやっていこうと、改めて思いました(40.M) ◎今まで戦争映画や、戦争を題材にした国書、演劇等を読み、又は観せて頂いたりしましたが、その度に涙する事がありました。でも今は涙ではなく、お念佛がこぼれてまいりました(中略) 懲悔の生を尽くすという事は、深い罪の自覚に根ざすもので、罪を客觀視した所からは眞実の懲悔は生まれないのだといふことも御教え頂き、実感として書いてまいりました(50.W) ◎私のかわりに書ってくれていたのですね(60.W) ◎今日の舞台は、死ぬまで私の中に住む事でしょう(60.W) ◎よく口を開かれた(?) ◎「罪惡深重の存在」である自分に、はじめて実感できた(70.M) ◎私は何度も中国に渡り、被害者と会って来たが「それが何だ」という思いになりました。私の胸に「お前は何者か」という言葉が突き刺さります(80.M) ◎南京事件の解説を中心とした語りであると思っていた、が、お二人の父親がそれぞれ日中戦争の渦の中に巻き込まれ、そこに人生を賭けて生きられた生き様の中に許し難い罪があった事を気が付かれて、それぞれの父親の業を背負って演じられている事をひしひしと感じました。深く感銘しました。(70.M)

アンケート
より

IMAGINE21 <ノンフィクション・ステージ>

地獄のDECEMBER(12月)

-哀しみの南京- あらすじ

プロローグ・2幕11章・エピローグ

渡辺義治・横井量子 作・構成・演出・美術・出演



プロローグ — 一人の男(従軍記者)見たものとは...
(本多勝一著「南京への道」より)

1幕1章 — 渡辺義治「告白」自分の生命の誕生の裏にあった...
父の罪。そして...母の心の 痛い...



2.3.章 — 横井量子「妻の告白」夫と、夫の両親の心の
闇の壁。夫の母の自殺...そして中国へ行こう
...そこ見たものは...??



4章 — (上海戦から南
京戦への直)元兵士、従
軍記者、中国人教授の証
言...。(吉田裕著「天皇の軍隊と南京事件」)そして、天
皇の言葉((南京戦史資料集Ⅱより)、吉田裕著、上と同じ)



5章 — 南京陥落、虐殺への道...長江は見ていた...
(笠原十九司著「南京事件」より)

休憩 (10分)

2幕6章 — 踊り、血のケイム...。南京の大虐殺の現場で起きた不思
議な体験...。そして、元兵士の
証言...。(本多勝一著、「南京への道」
より)



7章—「めごめ」横井量子。

陸軍、御用商人であった。

亡き父の言った言葉…

「今ごろ、戦争に敗けなんだと

う…傍若無視して…」…

この言葉からの発見したもの!!

8章—



家族4人が殺され、四才の妹と私だけが助かって…。
夏浦ス琴さん幼い頃の体験…。(証言より、脚色、横井量子)
証言は〔平野勝一著、「南京への道」より〕

9章—横井量子「懺悔への道」…発見…。

10章—2005年、11月、再び、私たちは南京へ行った。

横井量子…父の箇堀の罪と南京大虐殺…!夫からの問いかけ…「罪はボクの家臣なの…?」…への懺悔…日本の加害の罪、父の罪とのことで見えてきたもの…それは…。

エピローグ—渡辺義治、量子。



…罪を語る、化身のひと(殺された中国人)との対話…??
父達の罪を、息子、娘と口…
受け継ぎでやく…愛から、生まれ 出た言葉…;とは…??

幕…。2時間10分

プロフィール 渡辺義治 1947年生まれ 岐阜県北方町出身。愛知大学卒業。新劇系劇団にて23年間修行の後、1991年、IMAGINE21を立ち上げる。

横井量子 1946年生まれ 東京都目黒区出身。都立千歳ヶ丘高校卒業。1950年よりモダン・バレエを習い、1959年日本児童劇団に所属。1968年、東京芸術座に所属(6年後)新劇系劇団にて修行の後、渡辺とIMAGINE21をつくる。